

# 令和5年度

## 全国学力・学習状況調査の結果について

### ～白老町の見童生徒の概況～

#### I 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における見童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各市町村教育委員会及び各学校が、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各見童生徒の学力や学習状況を把握し、見童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

#### II 調査の対象学年（実施総数）

小学校第6学年、中学校第3学年

	白老町	北海道	全国（公立）
小学校	66名	35,645名	964,177名
中学校	70名	34,256名	892,738名

#### III 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語（中学校））
- (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
  - ①見童生徒に対する調査
  - ②学校に対する調査

#### IV 調査実施日

令和5年4月18日（火）

#### V 内容構成

- 1 調査結果の概況
- 2 領域別の結果概況
  - ・小学校（国語、算数）
  - ・中学校（国語、数学、英語）
- 3 見童・生徒質問紙調査の概況（小・中）
  - ・基本的な生活習慣、学習習慣等、自尊感情、将来に関する意識、規範意識

## 白老町教育委員会

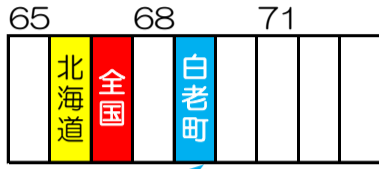
令和5年8月

# 1. 調査結果の概況

## (1) 白老町の児童（小学校）の状況

### 国語

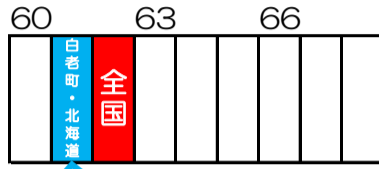
国語	平均正答率
全国（公立）	67.2
北海道（公立）	66
白老町	69



白老町の児童の平均正答率はここに属しており、「全国とほぼ同様（上位）」「全道よりやや高い」の範囲に属しています。

### 算数

算数	平均正答率
全国（公立）	62.5
北海道（公立）	61
白老町	61

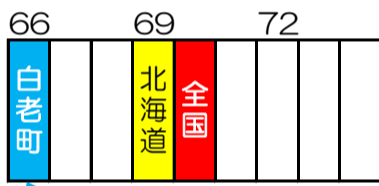


白老町の児童の平均正答率はここに属しており、「全国と同様」「全道とほぼ同様（下位）」の範囲に属しています。

## (2) 白老町の生徒（中学校）の状況

### 国語

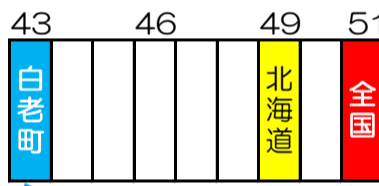
国語	平均正答率
全国（公立）	69.8
北海道（公立）	69
白老町	66



白老町の生徒の平均正答率はここに属しており、「全国・全道よりやや低い」の範囲に属しています。

### 数学

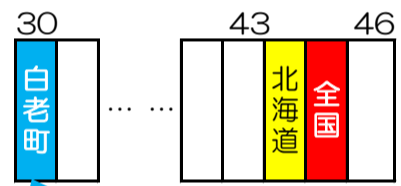
数学	平均正答率
全国（公立）	51
北海道（公立）	49
白老町	43



白老町の生徒の平均正答率はここに属しており、「全国より極めて低い」「全道より低い」の範囲に属しています。

### 英語

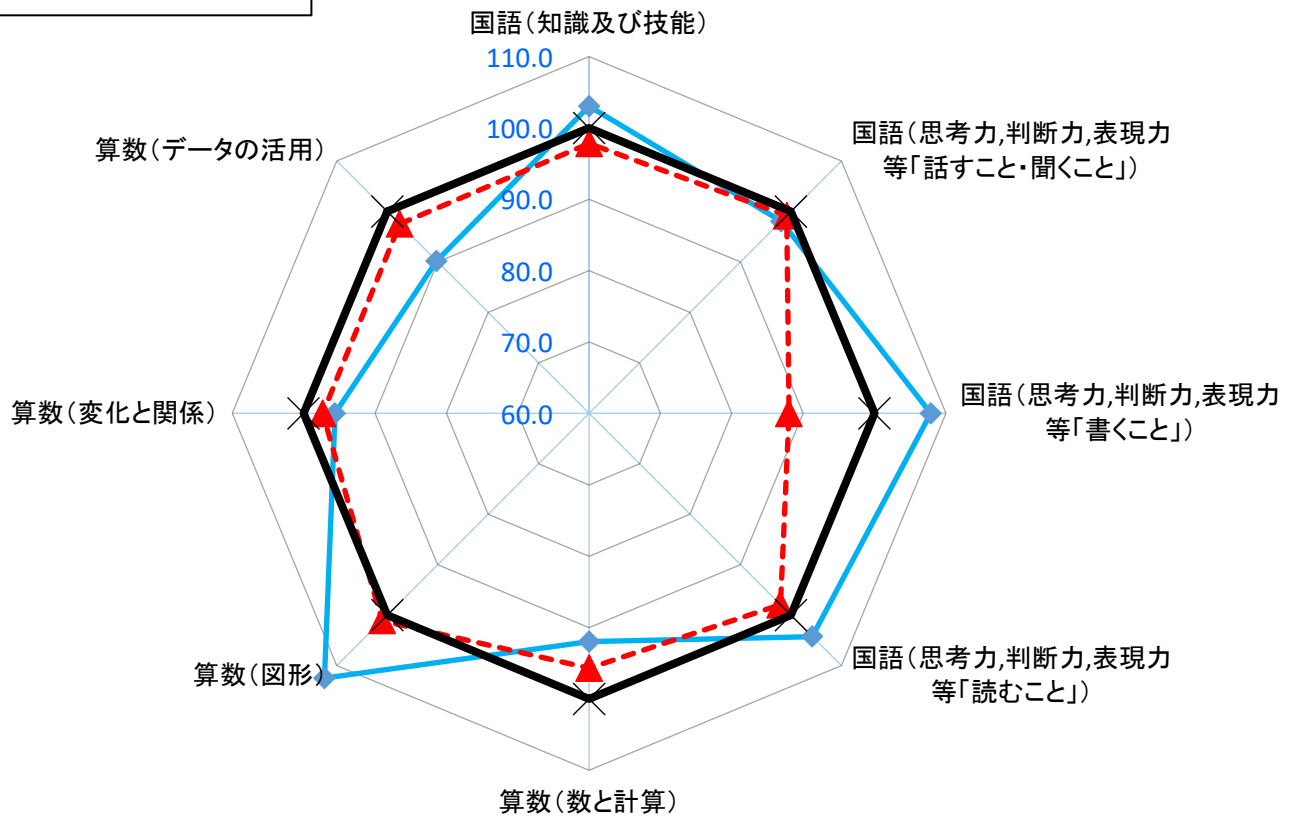
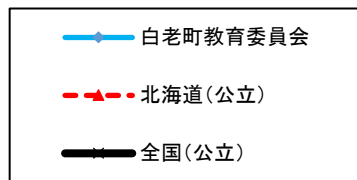
英語	平均正答率
全国（公立）	45.6
北海道（公立）	44
白老町	30



白老町の生徒の平均正答率はここに属しており、「全国・全道より極めて低い」の範囲に属しています。

## 2. 領域別の結果概況

### < 小学校 >



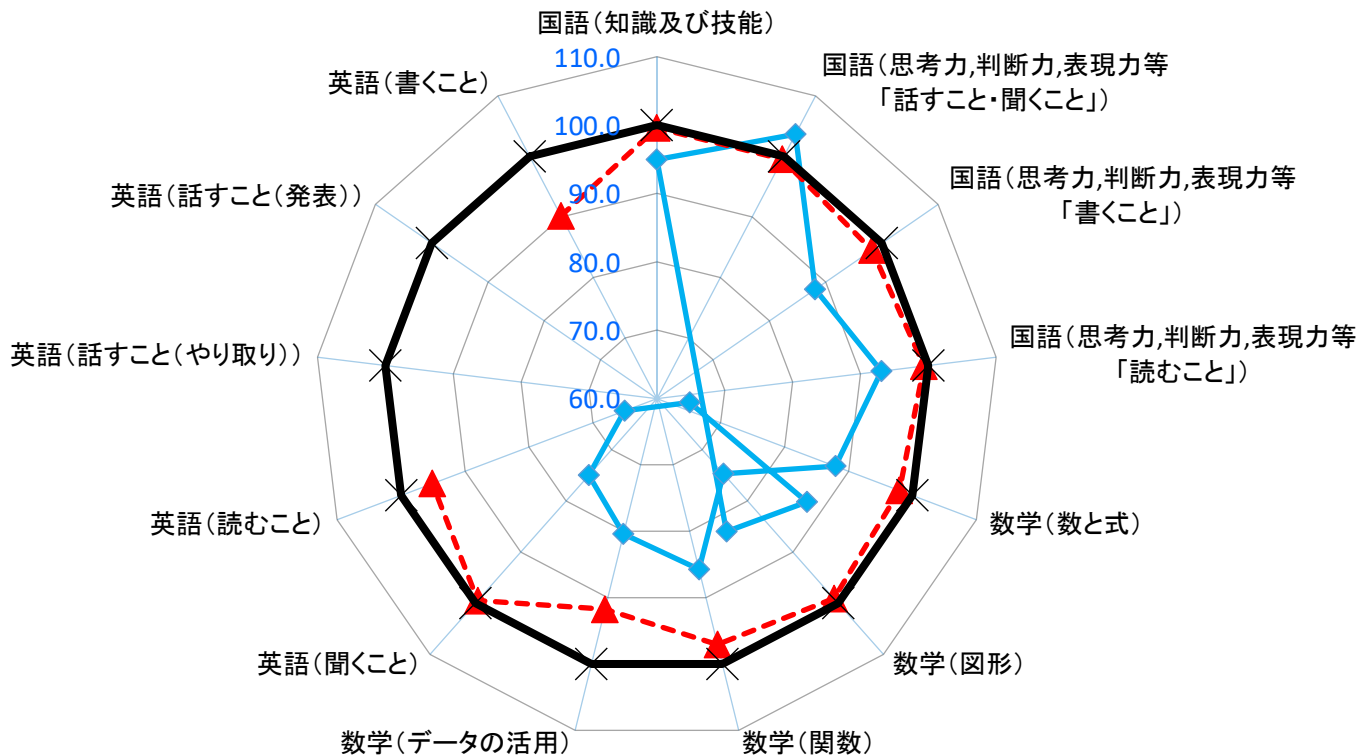
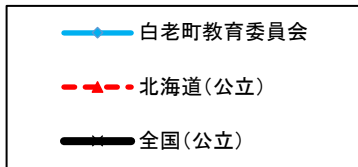
### 小学校【国語】

- 「思考力,判断力,表現力等「書くこと」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。
- 「知識及び技能」「思考力,判断力,表現力等「読むこと」の領域は、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- 「思考力,判断力,表現力等「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均とほぼ同様(下位)にあります。

### 小学校【算数】

- 「図形」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。
- 「変化と関係」の領域は、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 「数と計算」「データの活用」は、全国平均より極めて低い傾向にあります。

## < 中学校 >



### 中学校【国語】

- ・「思考力,判断力,表現力等「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- ・「知識及び技能」「思考力,判断力,表現力等「読むこと」の領域は、全国平均より低い傾向にあります。
- ・「思考力,判断力,表現力等「書くこと」の領域は、全国平均より極めて低い傾向にあります。

### 中学校【数学】

- ・全ての領域において、全国平均より極めて低い傾向にあります。

### 中学校【英語】

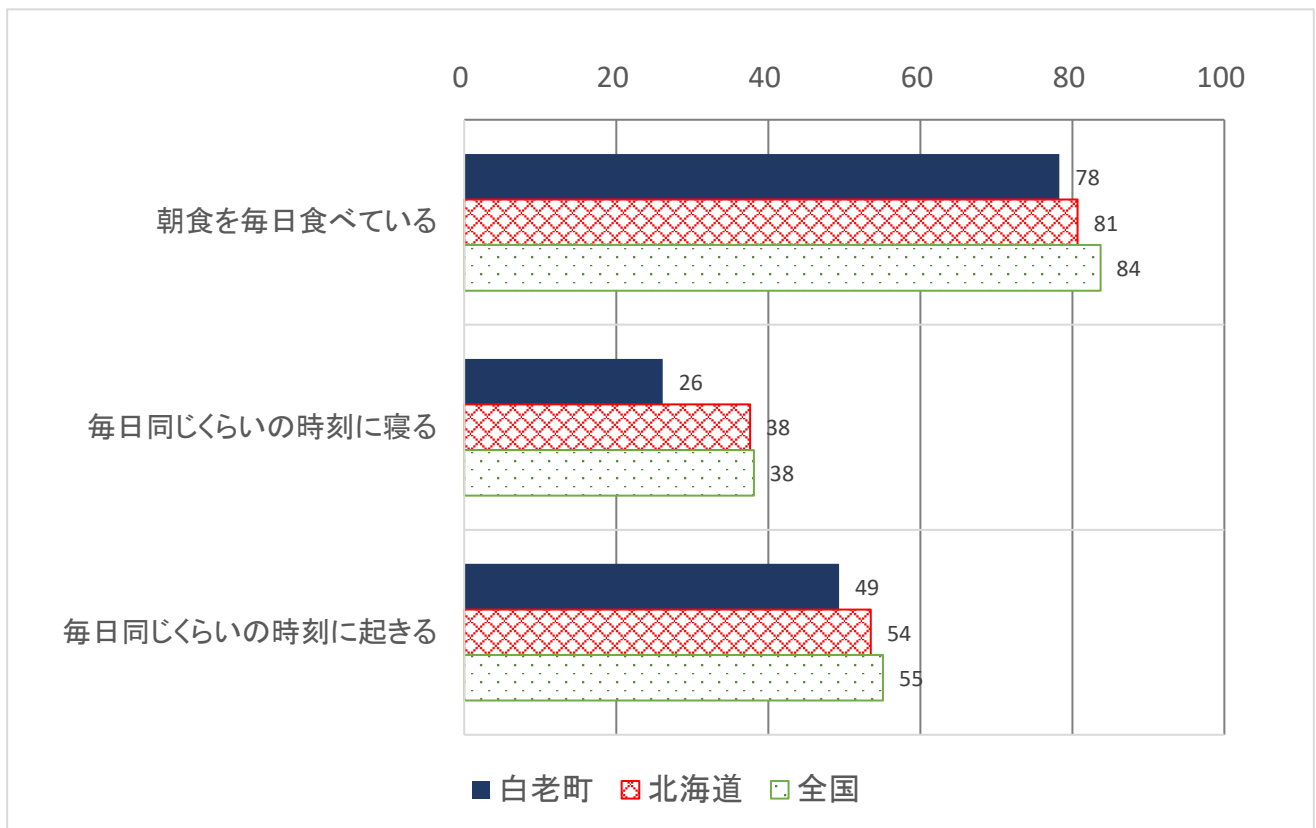
- ・全ての領域において、全国平均より極めて低い傾向にあります。
- ※「話すこと(やり取り)(発表)」の領域における北海道の調査結果は示されておりませんので、未記入としています。

## 3-1. 児童質問紙調査の概況（小学校）

### ◇ 小学校 基本的な生活習慣 ◇

質問の内容（数値は、パーセントを表しています）

質問項目	白老町	北海道	全国
朝食を毎日食べている	78	81	84
毎日同じくらいの時刻に寝る	26	38	38
毎日同じくらいの時刻に起きる	49	54	55



（状況）

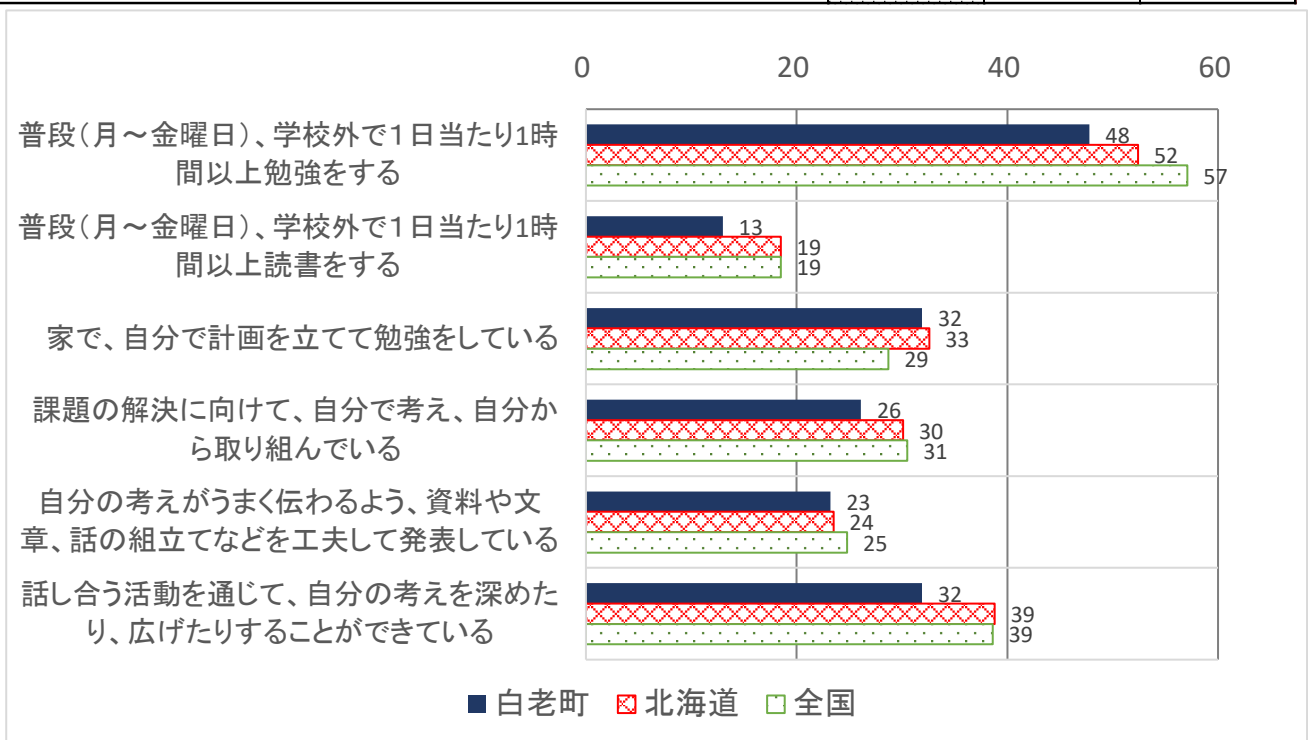
- 「朝食を毎日食べている」、「毎日同じくらいの時刻に起きる」と回答した児童は、全国平均よりも低い。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝る」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて低い。

◆起床、就寝時刻などの生活リズムを整えることや、朝食を毎日食べることは、健康な生活を送るための基本です。子供たちの基本的な生活習慣の定着のため、学校と家庭が連携して取組を進めます。

◇ 小学校 学習習慣、主体的・対話的で深い学び ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上勉強をする	48	52	57
普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上読書をする	13	19	19
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	32	33	29
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	26	30	31
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	23	24	25
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	32	39	39



(状況)

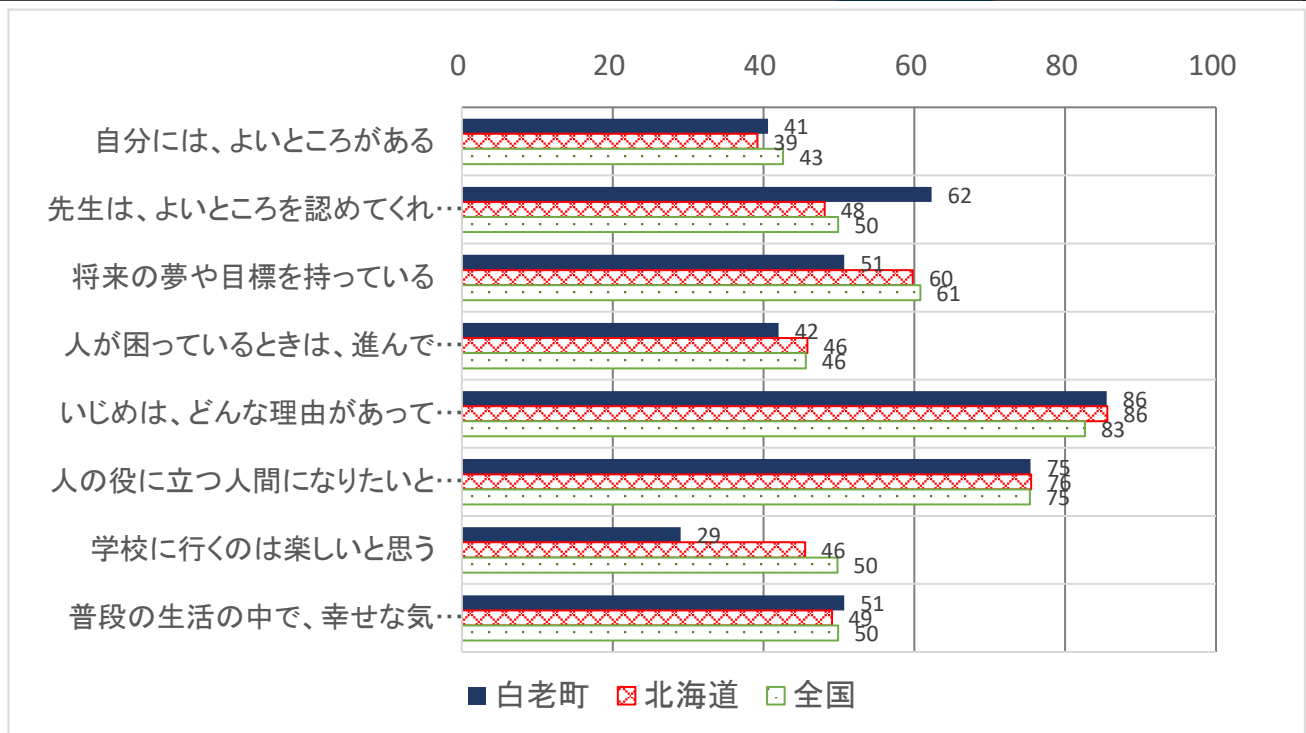
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合は、全国平均よりやや高い。
- 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（下位）である。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した児童の割合は、全国平均よりやや低い。
- 「普段、学校外で1日1時間以上読書をする」、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合は、全国平均よりも低い。
- 「普段、学校外で1日1時間以上勉強をする」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて低い。

◆「自分で計画を立てて勉強している」児童は、全国平均とほぼ同様ですが、主体的・対話的で深い学びの充実や家庭での学習時間は十分ではありません。  
 ◆児童が主体的に学習に取り組み、学び合いを通して学習を深めていく授業への手応えが更に感じられるよう白老町スタンダード(白老の底力)に基づいた取組を進めます。

◇ 小学校 自尊感情、将来に関する意識、規範意識 ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
自分には、よいところがある	41	39	43
先生は、よいところを認めてくれていると思う	62	48	50
将来の夢や目標を持っている	51	60	61
人が困っているときは、進んで助けている	42	46	46
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	86	86	83
人の役に立つ人間になりたいと思う	75	76	75
学校に行くのは楽しいと思う	29	46	50
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	51	49	50



(状況)

- ・「先生は、よいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて高い。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（上位）である。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した児童の割合は、全国平均と同様である。
- ・「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（下位）である。
- ・「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童の割合は、全国平均よりやや低い。「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて低い。

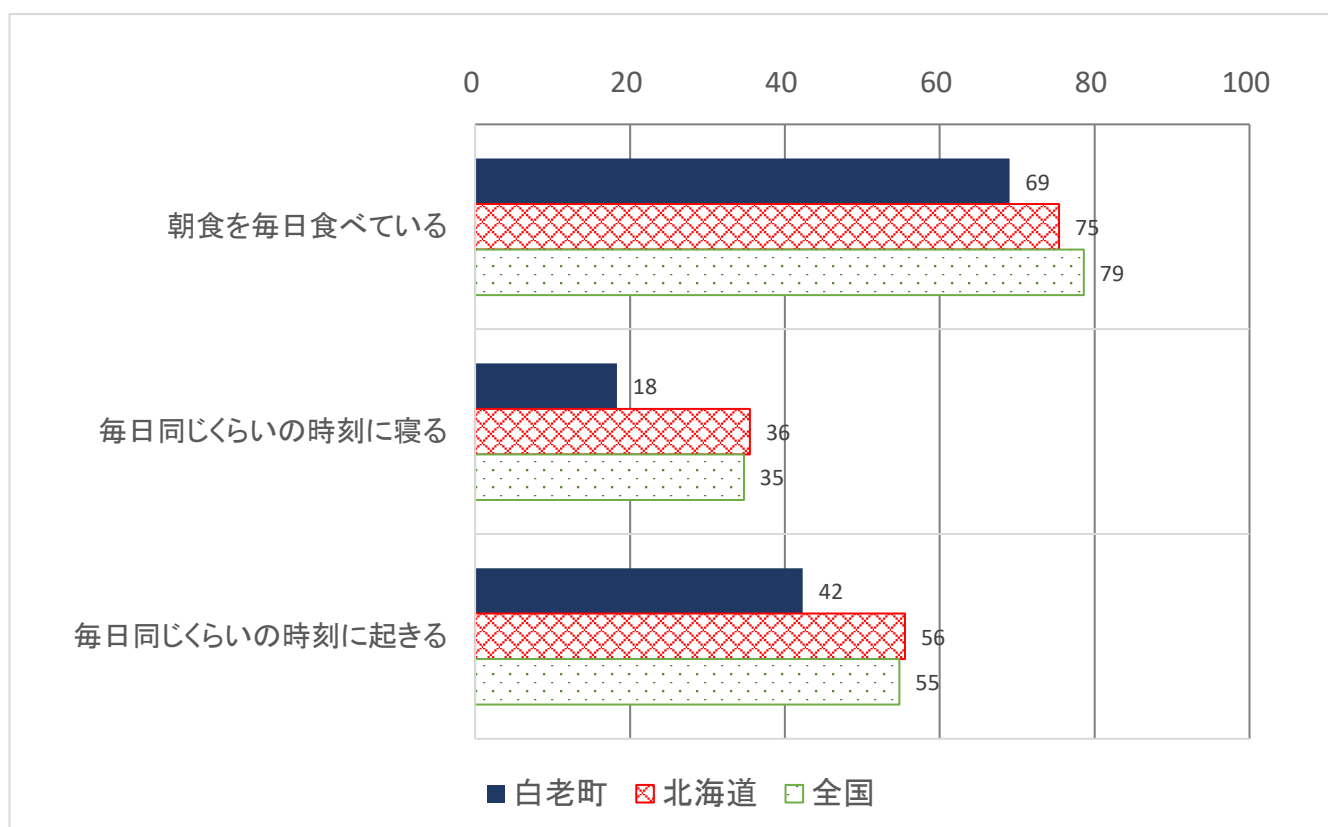
◆自己肯定感やいじめを許さない心など、本町で取り組んでいる心の教育やキャリア教育などの成果が見られます。一方で、学校が楽しいと思える児童の割合が低いことが課題です。道徳教育をはじめ、様々な体験活動やコミュニケーション能力の育成を通して、自分の価値を認識しながら、他者と協働することの重要性などへの理解を深めていきます。

## 3-2. 生徒質問紙調査の概況（中学校）

### ◇ 中学校 基本的生活習慣 ◇

#### 質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
朝食を毎日食べている	69	75	79
毎日同じくらいの時刻に寝る	18	36	35
毎日同じくらいの時刻に起きる	42	56	55



#### （状況）

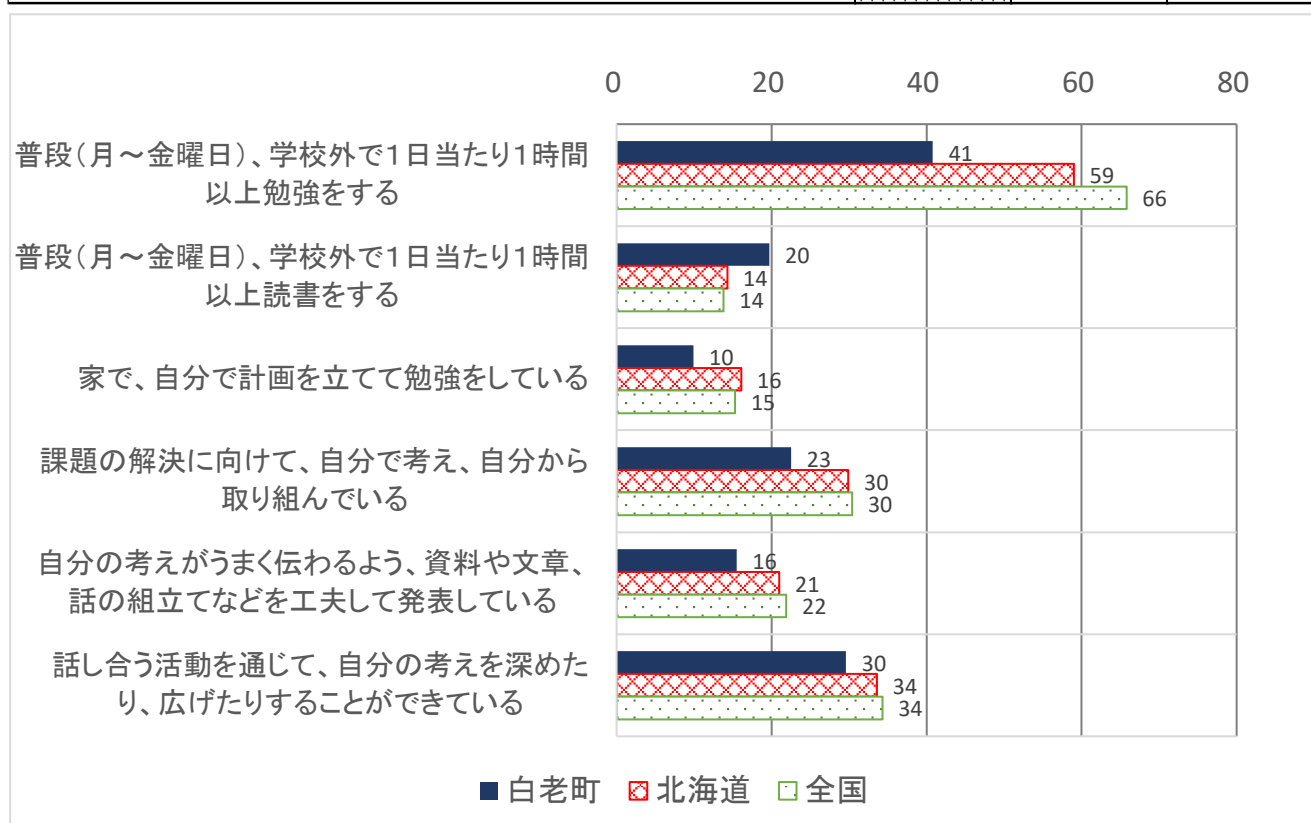
- 「朝食を毎日食べている」、「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも極めて低い。

◆起床、就寝時刻などの生活リズムを整えることや、朝食を毎日食べることは、健康な生活を送るための基本です。子供たちの基本的生活習慣の定着のため、学校と家庭が連携して取組を進めます。



質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上勉強をする	41	59	66
普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上読書をする	20	14	14
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	10	16	15
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	23	30	30
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	16	21	22
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	30	34	34



(状況)

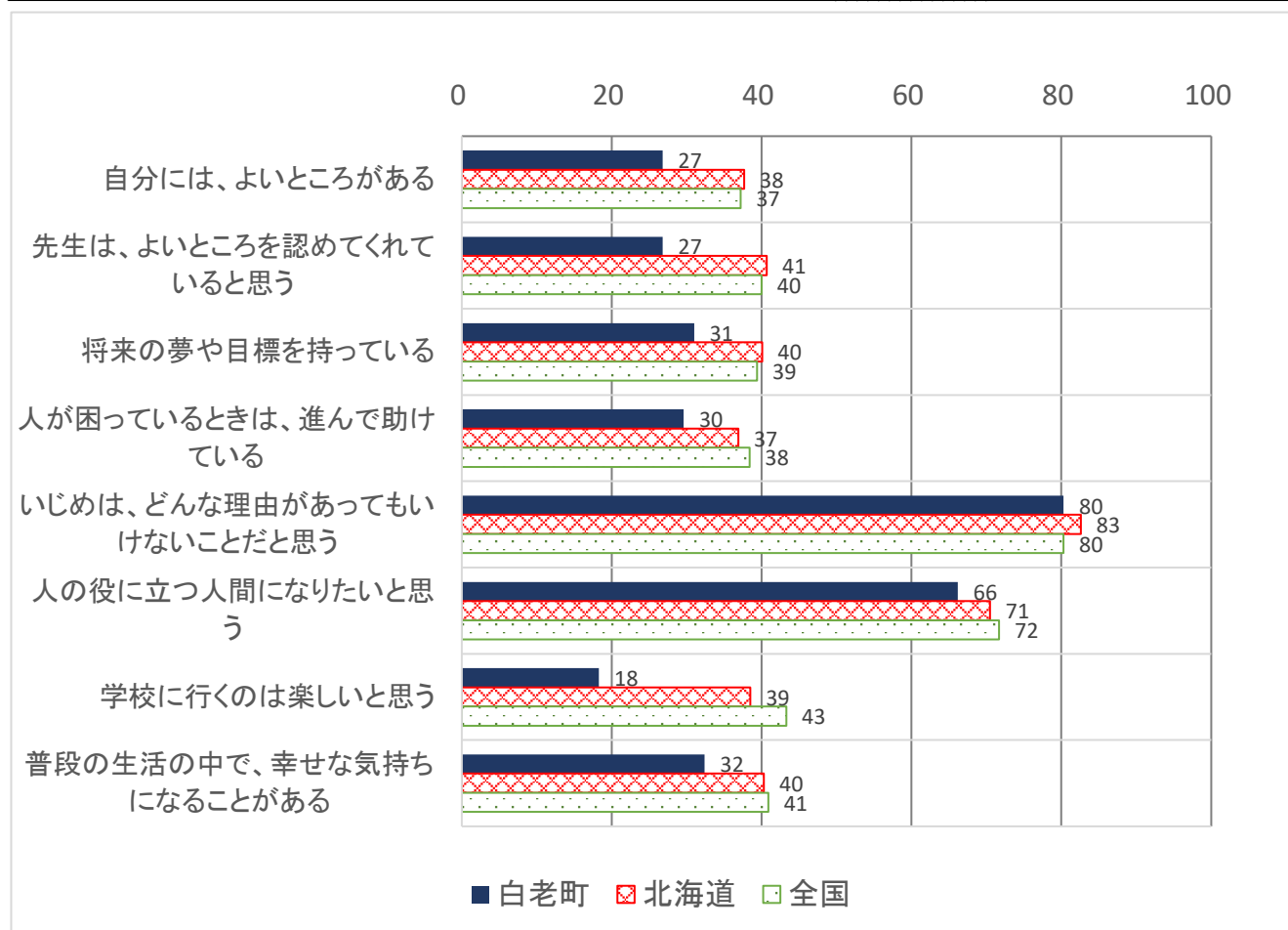
- ・「普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上読書をする」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも高い。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合は、全国平均よりもやや低い。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも低い。
- ・「普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上勉強をする」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも極めて低い。

◆読書時間の割合が高いものの、主体的・対話的で深い学びの充実や家庭での学習時間は十分ではありません。  
 ◆生徒が主体的に学習に取り組み、学び合いを通して学習を深めていく授業への手応えが更に感じられるよう白老町スタンダード(白老の底力)に基づいた取組を進めます。

◇ 中学校 自尊感情、将来に関する意識、規範意識 ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
自分には、よいところがある	27	38	37
先生は、よいところを認めてくれていると思う	27	41	40
将来の夢や目標を持っている	31	40	39
人が困っているときは、進んで助けている	30	37	38
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	80	83	80
人の役に立つ人間になりたいと思う	66	71	72
学校に行くのは楽しいと思う	18	39	43
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	32	40	41



(状況)

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒の割合は、全国平均と同様である。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも低い。
- 「自分には、よいところがある」、「先生は、よいところを認めてくれていると思う」、「将来の夢や目標を持っている」、「人が困っているときは、進んで助けている」、「学校に行くのは楽しいと思う」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも極めて低い。

◆いじめを許さない心は全国平均と同様の割合ですが、将来に関する意識や自己肯定感、自尊感情が低い傾向にあります。引き続き、道徳教育をはじめ、様々な体験活動やコミュニケーション能力の育成を通して、生徒が自分の価値を認識し、他者と協働することの喜びを感じられるよう取組を進めます。